

2019年6月25日

株主各位

会 社 名 株式会社コプロ・ホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 清川 甲介  
(コード番号:7059 東証マザーズ・名証セントレックス)  
問 合 せ 先 常務取締役 管理本部長 齋藤 正彦  
TEL. 052-589-3066

## 第13回定時株主総会の質疑応答要旨について

2019年6月25日(火)第13回定時株主総会を開催し、延べ3名の株主さまから3件のご質問・ご提言をいただき、議長より回答を致しましたので、その要旨をお知らせいたします。

### 記

<b>Q 1</b>	招集通知に記載の当社の使用人の状況において、平均年齢が33.1歳、平均勤続年数が1.5年となっているが、数値は正確か。正確であるとしたら短いのではないか。
<b>A 1</b>	招集通知に記載の数値は正確でございます。当社の平均勤続年数については、2015年のホールディングス体制移行後、現在に至るまでの年数が短いことに加え、新規上場を志向し、上場を見据えた管理体制の強化を目的に、増員をおこなったことに起因するものであります。
<b>Q 2</b>	第13期業績は増収増益にもかかわらず、現状、株価が伸び悩んでいる。今後の海外展開等、会社としての取り組みについて、PR・IRにおいて積極的に実施し、株主の期待感を高めてほしい。
<b>A 2</b>	株価の状況については市場の評価の指標であり、様々な外部的要因により形成されるものと認識しており、株価向上のためには業績目標に対して着実に取り組むことが重要だと認識しております。海外展開については、上場による調達資金の用途の1つとして位置付けており、5年後、10年後を見据えた持続的な企業価値向上を目指して検討を実施しているところであります。株主さまのご指摘のとおり、IR不足については認識しており、今後の課題として強化を図ってまいりたいと考えております。
<b>Q 3</b>	同業他社と比較すると、当社は配当性向が低く、株主優待も実施をしていない。株主還元策を検討してほしい。
<b>A 3</b>	同業他社の状況も鑑み、配当性向については、将来的な事業拡大に資する先行投資のための内部留保とのバランスに留意し、上昇を図ってまいりたいと考えております。株主優待制度の導入も手段の一つとして考慮したうえで、株主還元策については今後検討してまいりたいと考えております。

以上